

# 平成26年度 事業報告書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

特定非営利活動法人 手話教師センター

## 1 事業の成果

【育成】定例会を年に4回実施した。△教師育成の一環として行なわれる日本手話ブラッシュアップ講座は定例会のある日の午前に4回実施し、また、集中タイプのを1回実施した。△ナチュラル・アプローチ手話教授法講座に関しては3ヶ所(新宿・三田・岐阜)、4講座を実施することができた。

【研修】集中研修会(旧:一泊研修会)および大会については例年通り実施することができた。特に大会では、メンバーによる同時通訳(ろう通訳)を実現することができた。△自主勉強会の助成申請数は前年比2件増の8件であった。また、スペシャル自主勉強会(大会研究発表に向けた自主的な勉強会)に対する助成も行なった。△CIT(手話通訳養成者会議)に4人を派遣した。

【派遣】手話教師派遣件数は単発のものも含め数十件であった。派遣先として契約しているところは2ヶ所である。また、試行中の個人レッスンは新規2件のリクエストがあり、いずれも大学関係者である。

【開発】DVDプロジェクト活動が沈滞しており、教材開発の成果(DVDの発行)が出なかった。

【翻訳・通訳】日本財団から「日本手話に特化した翻訳・通訳技術向上支援事業」の助成金を得、翻訳講座(全5回×2)、eラーニング講座(全3回×2)、翻訳・通訳講師養成講座(全10回)、ろう通訳シンポジウム(3ヶ所)、公開特別セミナー&勉強会を実施することができた。

【啓発】Facebookページを開設し、よりリアルタイムに発信することが可能になった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
手話教師育成事業	定例会の開催	年4回	国立オリンピック記念青少年総合センター	15名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーディネーター 手話学習者・手話通訳者 約400名	2,047
	日本手話ブラッシュアップ講座等における教師育成	年5回	国立オリンピック記念青少年総合センター	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーディネーター 手話学習者・手話通訳者 約80名	
	ナチュラルアプローチ手話教授法講座への教師派遣	年12回×4ヶ所	東京(渋谷・三田) 岐阜	8名	手話教師をめざすろう者及びコーディネーター 約40名	
手話教師研修事業	集中研修会(フォローアップ及びスキルアップのための勉強会)	年に2回 5月 12月	国立オリンピック記念青少年総合センター	20名	手話教師 約120名	2,620
	日本手話教育研究大会	年に1回 7月	国立オリンピック記念青少年総合センター	10名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーディネーター 約200名	
	手話教師育成指導者研修会	年に1回 2月	静岡(熱海)	1名	手話教師指導者 10名	
	手話教師自主研修会	通年	東京	6名	手話教師 約180名	
	海外研修派遣	年に1回 10月	米国	1名	手話教師・通訳養成教師 4名	
手話教師派遣事業	手話教師の派遣	通年	事務所	2名	手話教師30名 学生・手話学習者/一般市民 約2,500名	1,826
手話教授法に関する教材開発事業	ナチュラルアプローチ法に適した手話指導書及び受講生用のテキストを作成し、出版する	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーディネーター 手話学習者・手話通訳者 約10名	14
翻訳・通訳に関する事業	日本手話に特化した翻訳・通訳技術が向上するよう支援する。	通年	東京・愛知(名古屋)、大阪(梅田)	20名	日本手話による通訳をめざす聴者 ろう手話通訳をめざすろう者 手話通訳養成指導者 約380名	5,145
ろう者特有の文化に関する普及啓発事業	手話教師センターのホームページを設置、運用	通年	事務所	2名	手話教師 手話教師をめざすろう者及びコーディネーター 手話学習者・手話通訳者 約400名	154